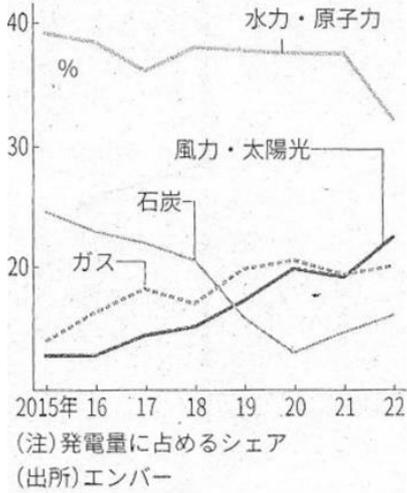


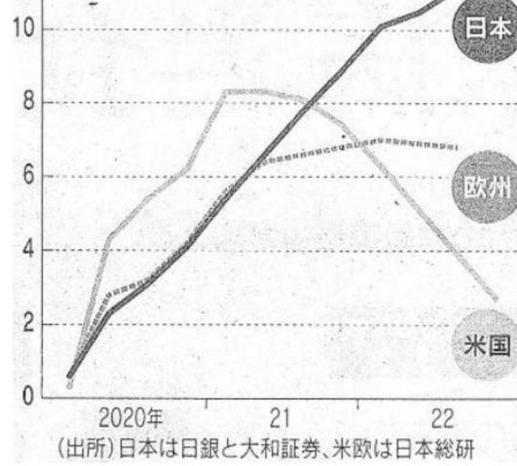
週間国際経済 2023 (4) No.338 01/30~02/10

- 01/30・防衛費 日米欧2桁増 ウクライナ侵攻後 米10%、日独2割 中ロ脅威に備え
- ・正解法人税収28兆円増も OECD試算 最低税率15%導入で
 - ・中国、日本人ビザ発給再開 ビジネス交流活性化狙う
- 01/31・EU離脱 英世論過半「誤り」 貿易伸び、G7で最低
- ・中国景況感、1月「50」超え 製造業「ゼロコロナ」終了 非製造業も大幅改善54.4
 - ・令和臨調、共同声明見直し提言 物価2%「長期で」 財政・企業 日銀依存に限界
- 02/01・少子化対策に「N分N乗」案 子ども多いほど所得税負担減
- 02/02・「年収の壁」対策 就労促進を探る 106万、130万円で社会保険料発生
- ・ユーロ圏物価8.5%上昇 1月、3ヶ月連続鈍化 食品値上げ加速
 - ・OPECプラス 減産、現状維持 中国の需要動向見極め
 - ・EUの再生エネ 初めてガス抜く 風力・太陽光、昨年22% 侵攻機に投資拡大<1>
- 02/03・米利上げ0.25%に減速 「継続的利上げ」声明維持 議長「インフレ鈍化」<2>
- 1日FOMC、利上げ停止時期探る 市場の楽観論けん制 「年内利下げ」観測なお
 - ・欧州中銀0.5%利上げ 英中銀も利上げ、政策金利4%に
 - ・米軍、フィリピン拠点倍増 台湾有事の備え強化 両国国防相が合意 日豪とも連携
- 02/04・米テック5強、全社減益 10~12月 高成長曲がり角 コロナ特需も一巡 <3>
- ・アジア新興国通貨が上昇 中国の消費に期待先行 韓国ウォン、タイバーツ高値
 - ・ウクライナ、汚職対策加速 欧州委と首脳会談、綱紀粛正説明
 - EU加盟へ追い風期待 支援つなぎ留めも視野
 - ・米國務長官、訪中を延期 気球飛来は「主権侵害」
 - ・米、長距離兵器供与へ ウクライナ支援 クリミア半島射程に
- 02/05・「コロナ貯蓄」使われぬ日本 GDP比10%超 将来不安映す 米では取り崩し <4>
- 02/06・米軍、中国偵察気球を撃墜 大西洋上 中国は対抗措置示唆 高まる偶発リスク
- 02/07・トルコ・シリア地震 大規模被害 各国支援表明
- ・実質賃金、昨年0.9%減 名目賃金の伸び物価上昇を下回る
- 02/08・米中貿易額4年ぶり最高 昨年、日用品・食品など伸び <5>
- 安保関連以外、依存強く 米貿易赤字は最大に 156兆円
 - ・日本経常黒字、昨年47%減 11.4兆円 円安で8年ぶり低水準 貿易赤字15兆円
 - ・ロシア、財政悪化一段と 1月 原油安で収入源 戦費で支出6割増
- 02/09・「民主主義国、より強く」 米大統領、対中ロ結束主導 一般教書演説
- ・「デジタル赤字」4.7兆円 昨年国際収支 5年で1.9倍 産業育成に遅れ <6>
- 02/10・ゼレンスキー氏支援拡大へ奔走 英議会「自由のために翼を」
- 仏訪問、兵器供与焦点に EU首脳会議、対ロ制裁を協議
 - ・トヨタ純利益18%減 4~12月 1.8兆円、原材料高で 円安効果では補えず

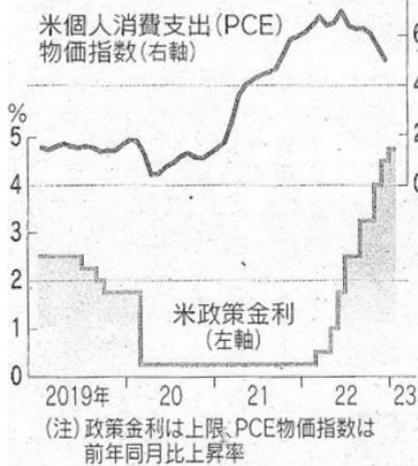
<1> EUでは再生エネが増えている



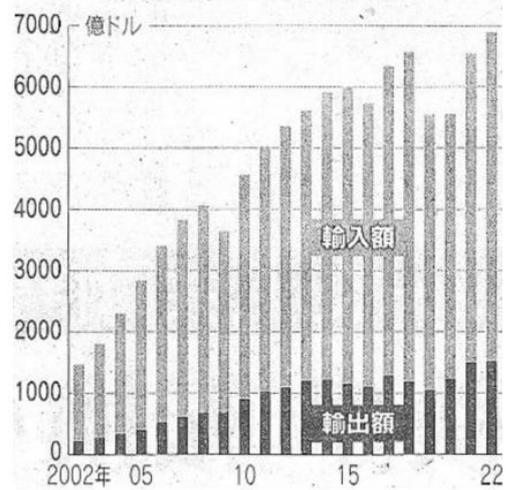
<4> 米国のコロナ貯蓄は大幅減 (GDP比)



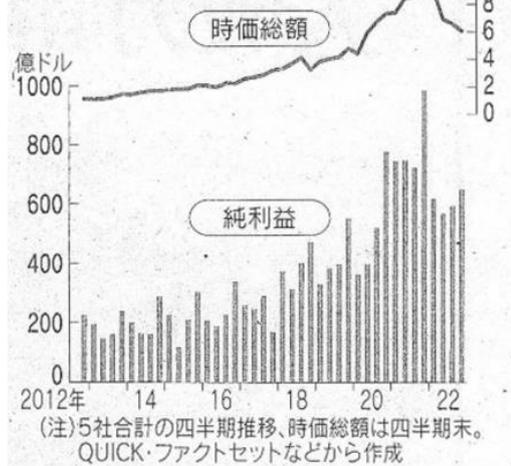
<2> 米国の物価上昇率は鈍化しつつある



<5> 米国の対中貿易額の推移



<3> 米テック5社の純利益はピークから3割減



米テック大手の2022年10~12月期業績

	純利益	増減率
アップル	299.98	▲13
マイクロソフト	164.25	▲12
アルファベット	136.24	▲34
メタ	46.52	▲55
アマゾン	2.78	▲98

(注)純利益は億ドル、増減率は%、▲はマイナス

<6> IT関連サービスの収支赤字が拡大

